



Script Editor および Internet Script Editor

- [Script Editor および Internet Script Editor](#) (1 ページ)
- [Internet Script Editor の管理者権限](#) (2 ページ)
- [Internet Script Editor のインストール](#) (2 ページ)
- [Internet Script Editor の起動](#) (3 ページ)
- [Internet Script Editor のアップグレード](#) (3 ページ)

Script Editor および Internet Script Editor

Packaged CCE 配置では、Script Editor と Internet Script Editor の 2 つのツールをルーティング スクリプトおよび管理スクリプトを作成するために使用できます。いずれか 1 つまたは両方のツールを使用できます。これらは同じ機能を提供し、この項ではその機能について説明します。この表にいくつかの考慮事項を示します。

Script Editor	Internet Script Editor
Unified CCE AW-HDS-DDS インストールの一部として自動的に展開されます。	Unified CCE AW-HDS-DDS のインストール時に Web Setup を選択して、ダウンロードおよびインストールして有効にする必要があります。
完全な Administration および Data server が必要です。Unified CCE AW-HDS-DDS サーバから実行しなければなりません。	ローカル マシンで実行できます。
グローバル管理者が使用できます。	グローバル管理者および部門の管理者が使用できます。
グローバル管理者のスク립ティング アクセスを制限しません。	部門の管理者のスク립ト アクセスを制限します。

Internet Script Editor の管理者権限

Packaged CCE の展開では、グローバル管理者と部署の管理者に、それぞれ異なる Internet Script Editor のアクセス権があります。

グローバル管理者には、次のようなアクセス権があります。

- スクリプトに対するフルアクセス権があり、スクリプトの作成時に、グローバルオブジェクトおよび部署内のオブジェクトすべてを参照できます。
- 動的スクリプティング ノードに対するフルアクセス権。

部署の管理者には、次のようなアクセス権があります。

- グローバルオブジェクトおよび部署内のオブジェクトを参照するスクリプトに対するフルアクセス権。
- 式などの動的スクリプティング ノードを参照するスクリプトに対する読み取り専用アクセス権。
- 管理対象ではない部署に関連付けられたオブジェクトを参照するスクリプトに対してはアクセス権がありません。

Internet Script Editor のインストール

インターネット スクリプト エディタを VM に直接インストールすることはできません。

Packaged CCE の場合、Unified CCE AW (HDS-DDS または外部 HDS) にインターネット スクリプト エディタをインストールすることはできません。

手順

ステップ 1 ブラウザから `server-name/install/iscripteditor.htm` にアクセスします (`server-name` の部分には、インターネット スクリプト エディタ クライアント パッケージと共にディストリビュータをインストールしたコンピュータ名を入力します)。

ステップ 2 [Internet Script Editor のダウンロード] をクリックします。

(注) この Web ページから `iscripteditor.exe` ファイルを直接開くこともできます。

ステップ 3 `iscripteditor.exe` を保存するディレクトリを指定します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックしてダウンロードを開始します。

ステップ 5 ダウンロードが完了したら、ブラウザを閉じます。

ステップ 6 デスクトップで、`iscripteditor.exe` が保存されているディレクトリに移動し、このファイルを実行します。

- ステップ7** Internet Script Editor の InstallShield Wizard が起動したら、[次へ] をクリックして続行します。
- ステップ8** [次へ (Next)] をクリックしてデフォルトのインストール先を選択するか、[参照 (Browse)] をクリックして任意のインストール先フォルダを指定してから [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ9** InstallShield Wizard にインストールの完了が示されたら、**完了** をクリックします。

インターネット スクリプト エディタのショートカットが、デスクトップと、[スタート] メニューの Programs/Cisco Systems Inc. プログラム グループ内に作成されます。

Internet Script Editor の起動

手順

-
- ステップ1** デスクトップにある Internet Script Editor (IScriptEditor) のショートカットをダブルクリックします。
- ステップ2** **接続** をクリックします。
- ステップ3** 正確なアドレス、ポート、および **ICM インスタ** の情報を入力します。
- ステップ4** [OK] をクリックします。
- ステップ5** [ユーザ名 (User Name)] および [パスワード (Password)] を入力します。名前は 20 文字以内にする必要があるため、セキュリティ アカウント マネージャ (SAM) のユーザ名を使用してください。
- ステップ6** Unified ICM システムの [ドメイン (Domain)] を入力します。
- ステップ7** [OK] をクリックします。
- ステップ8** 必要に応じて、Internet Script Editor をアップグレードします。

Internet Script Editor のアップグレード

新しいバージョンが存在する場合は、Internet Script Editor の起動後に、Internet Script Editor をアップグレードできますという内容のメッセージが表示されます。



- (注) GUIを拡張するためのアップグレードなどは必須ではありません。ただし、プロトコルやデータベースの変更を伴うその他のアップグレードは必須です。必須のアップグレードを実行しないと、Internet Script Editor を使用できません。

手順

- ステップ 1** ソフトウェアのアップグレードを実行します。
新しい Internet Script Editor をダウンロードするための Web ページが開きます。
- ステップ 2** [Internet Script Editor のダウンロード] をクリックします。
(注) アップグレード中は、Internet Script Editor を使用できません。
この Web ページから iscripteditor.exe ファイルを直接開くこともできます。
- ステップ 3** iscripteditor.exe を保存するディレクトリを指定します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックしてダウンロードを開始します。
- ステップ 5** ダウンロードが完了したら、ブラウザを閉じます。
- ステップ 6** デスクトップで、iscripteditor.exe が保存されているディレクトリに移動し、このファイルを実行します。
- ステップ 7** Internet Script Editor の InstallShield Wizard が起動したら、[次へ] をクリックして続行します。
- ステップ 8** [次へ (Next)] をクリックしてデフォルトのインストール先を選択するか、[参照 (Browse)] をクリックして任意のインストール先フォルダを指定してから [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 9** InstallShield Wizard にインストールの完了が示されたら、**完了** をクリックします。
-